

明けまして
おめでとう
ございます。

ご
か
せ

第71号

令和6年 1月10日発行

議会です!



●目次●

- ・補正予算 …P2
- ・総括質疑 …P3
- ・一般質問 …P5～7
- ・議会報告会 …P8～9
- ・明日を駆ける …P12

ホームページはこちら▼

<http://www.town.gok.aso.miyazaki.jp/kehak/>



ポチッ
としてみらんの

令和5年 第4回 五ヶ瀬町議会定例会

令和5年度一般会計補正予算は 5,500万円を減額し

総額 62億6,950万円

令和5年度一般会計補正予算の主な内容は次のとおりです。

主な投資的事業

事業名	事業費	事業内容
G パーク立木伐採	200 万円	G パークの立木伐採に係る手数料
林道維持工事	900 万円	林道維持工事に係る工事請負費 (10 箇所)
現年発生林道施設 災害復旧費	500 万円	測量設計委託料
現年発生道路橋りょう 災害復旧費	1,000 万円	測量設計委託料 (地すべり災害)

主なソフト事業

事業名	事業費	事業内容
準生活路線・定期路線 バス運行経費補助金	515 万円	運行経費の増額による
第3セクター運営資金 補助金	1,000 万円	五ヶ瀬ハイランドに対する運営資金補助金
システム改修委託料	763 万円	戸籍附票システム、マイナンバーカードへの氏名 ローマ字表記等に係る住民基本台帳システム改修
【臨時交付金】 住民非課税世帯等臨時特別給付金	4,100 万円	対象世帯へ 70,000 円給付
社会福祉協議会運営費補助金	1,423 万円	社会福祉協議会 介護サービス事業の収入見込み 減額による補助金の増額
【臨時交付金】 介護施設等物価高騰に対する支援金	161 万円	介護施設等に物価高騰に対する支援金を給付



総括質疑

五ヶ瀬ハイランドへの補助金

問 商工振興費の第3セクター運営資金補助金1,000万円の説明を。

答弁 (株)五ヶ瀬ハイランドの運営にかかる補助金である。

意見 木地屋の運営補助金だと思うが、4年の第4回定例会でも補正予算がつけられており、さらに今年は、大幅に予算が上がっている状況である。今後木地屋のしっかりとした経営改善をしていただきたい。

人工衛星等の活用に転換

問 森林経営管理制度支援システム賃借料が、951万3,000円の減額となっているが、その内容について伺いたい。

答弁 航空レーザー計測を使って林業振興に活用する目的だったが、非常に高額な費用を伴うことと、最近は人工衛星等を活用した森林解析の技術等が出てきており、より精度の高い分析が可能になることが十分予想されるので全額を減額した。

反対討論 (甲斐政國議員)

討論

議案第77号五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用減少等に関する条例の一部改正について。外国の紛争に伴い国内の物価の高騰が続いている。町内においても、子牛の価格が暴落し、米の価格も下落。物価はさらに高騰している状況にある。また、冬場の就業の場であるスキー場が2年連続休業で、そこで働いていた方々がまだ就職につけない。

このような状況の中で町民の感情を察する時に、町民の代表である議員が人事院勧告に従って期末手当の増額受給することは妥当ではない。

宮崎交通へ支援

問 総合交通対策事業費で、宮崎交通への支援、補助金が、515万6,000円の増額ということなのか。

答弁 11月に総額935万3,000円と運行経費が決定し、それに伴う補助金の追加分である。

問 どのくらいの町民が利用しているのか。

答弁 高千穂高校に通う学生が、ほとんどと思う。感覚的にはあまり乗っていないような気はしている。

令和5年 第4回五ヶ瀬町議会定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	議決の結果
報告	・専決処分の承認を求めることについて (令和5年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(専決第2号))	承認
議案第77号	・五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	否決
議案第78号	・五ヶ瀬町長等の給与に関する条例及び五ヶ瀬町教育長の給与に関する条例の一部改正について	可決
議案第79号	・五ヶ瀬町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第80号	・五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	可決
議案第81号	・五ヶ瀬町国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第82号	・五ヶ瀬町保育料条例の一部改正について	可決
議案第83号	・五ヶ瀬町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第84号	・令和5年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第5号)について	可決
議案第85号	・令和5年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第86号	・令和5年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第87号	・令和5年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第88号	・令和5年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第89号	・西臼杵広域行政事務組合規約の変更に係る協議について	可決
発議第7号	・議員派遣について	可決
その他	・閉会中の委員会の継続調査について	可決

行財政改革特別委員会委員長報告 委員長 渡邊 孝

本特別委員会に付託された調査事項で「株式会社五ヶ瀬ハイランド」、「五ヶ瀬ワイナリー株式会社」の令和4年度決算状況について、会議規則の規定により報告致します。

【株式会社五ヶ瀬ハイランド】

会社全体の資本金に対する課税が大きかったことから、節税目的により2億5000万円の減資が行われたが、期末累計利益はマイナス約1億5000万円となり、依然として苦しい経営状況となっている。社員一丸となり経費削減や、キャンプ場経営を新たに開設するなど、様々な取り組みがなされ改善努力のあとは見られるが、昨年9月に襲来した台風14号の災害被害が甚大で、スキー場営業を2年連続で休止することとなり、29期も大変厳しい経営状況となりました。



株式会社五ヶ瀬ハイランド

年 度	第28期 令和3年度	第29期 令和4年度
スキー場売上	133,899,426	0
木地屋売上	79,578,908	90,045,590
売上高	213,478,334	90,045,590
売上原価	31,131,033	24,569,892
売上総利益	182,347,301	65,475,698
販売費及び一般管理費	220,181,365	120,580,625
営業利益	▲ 37,834,064	▲ 55,104,927
営業外収益	33,732,928	52,622,395
営業外費用	1,141,443	890,577
経常利益	▲ 5,242,579	▲ 3,373,109
固定資産除却損		
法人税等充当額	2,545,300	182,500
特別利益		
当期純利益	▲ 7,787,879	▲ 3,555,609
期末累計利益	▲ 396,329,409	▲ 149,885,018
備 考		・スキー場営業休止 ・250,000,000円減資

【五ヶ瀬ワイナリー株式会社】

抜本的改善に向け、旅費や交際費等の経費削減に取り組まれたが、売上高が前年並みの1億5653万円に止まり、当期純損益はマイナス2041万円となった。

レストラン営業については、高評価の話もよく耳にする。これからも利用者の笑顔の食事となるよう努力をお願いしたい。

今後のワイナリー存続は、ワインの生産量（本数）の増産と、生産者への適正な買取価格と考える。

生産面積の拡大を進めると共に、ぶどう品種の選定と農林振興の強化が必要と思う。



五ヶ瀬ワイナリー株式会社

年 度	第19期 令和3年度	第20期 令和4年度
ワイン館売上高	50,298,996	49,881,758
工場売上高	92,353,514	90,688,962
レストラン売上高	10,530,330	11,674,275
その他売上	3,438,444	4,286,281
売上高	156,621,284	156,531,276
売上原価	111,442,953	113,198,062
売上総利益	45,178,331	43,333,214
販売費及び一般管理費	84,452,266	84,897,797
営業利益	▲ 39,273,935	▲ 41,564,583
営業外収益	12,932,929	20,555,519
営業外費用	3,167,107	3,701,846
経常利益	▲ 29,508,113	▲ 24,710,910
法人税等充当額	182,500	182,500
特別利益	9,357,631	9,067,377
特別損失	29,767	4,592,382
当期純利益	▲ 20,362,749	▲ 20,418,415
期末累計利益	▲ 104,922,122	▲ 125,340,537
備 考		



かい よしのり
甲斐 義則議員

九州中央道整備に対する政治姿勢について

問 11月3日に、蘇陽五ヶ瀬道路の着工式が開催され、五ヶ瀬区間においては、全区間が着工の運びとなった。
今後の九州中央道路整備に対する政治姿勢を伺いたい。

町長

九州中央道路が通ることは、物流や交流促進として経済の道、観光の道、救急医療や災害時などの命の道として、大きな役割を担っていくものと思う。引き続き、早期全線開通を目指し、官民一体となって関係機関への要望活動などに取り組んでいく。

問 本町の高速道路対策室は建設課の通常業務と併用であるが、特化した対策室の設置の考えはないか伺いたい。

町長

他の部署等でも人手不足ということもあり現時点では難しい、昨年度からは1名建設課の増員をして、災害に加え、高速道路建設についても職員が頑張ってもらっているのが現実である。兼務での対策室ということで、連携を強化していききたいと考える。

問 中央道に対し町としての盛り上がりが少ないように思うが、懸垂幕、横断幕や看板の設置を行い、国交省は元より施工業者の方、町民へのアピールが必要ではないかと思うが考えを伺いたい。



道の駅高千穂の中央道路看板

町長

盛り上げていくことは大事だなと思う。どういう指標があるかは別として、検討していきたいと考えている。議会も我々も思いは一つだということ、一緒に進めていきたい。町民の方々にも御理解を頂くことが大事かなと思う。

町が管理する道路の草刈り管理について

問 高齢化・人口減少により今後、町が管理する道路の草刈りが困難な地区が出てくると予想されるが、対応策を伺いたい。

町長

可能な限り地域住民の御協力を頂き、各行政区の中で協議・調整を図るなど御理解と御協力を頂きながら、困難な地域については業者等への外部委託を拡大していかなければならない時期だと思っている。

問 日之影町のような組織を作り、道路の草刈りに対応していく考えはないか伺いたい。

町長

利用と供給の関係がどうなのかと思うところである。参考になる事例ではあると思う。研究してみたい。



わたなべ たかし
渡邊 孝議員

今後の行財政の取り組みについて

問 令和6年度に実施したい施策とは

町長

まずは、災害復旧に全力を挙げて取り組み。(田畑・農業用施設・町道・スキー場へのアクセス道など)
次に、引き続き人口減少対策に取り組み、具体的には結婚対策や住宅対策を考えたい。
また、役場の体制を新年度からこれまでのグループ制から係制に移行し、町民へのサービスにつながる機構改革を目指したい。

問 保育所と小学校の今後について

町長

保育所については、平成28年度から保育所の今後のあり方について検討を重ねて来たが、現時点ではまだ具体的に決めていない、出生数が減っていく中でどうすることが良いのか、民営化も含め検討が必要な時期だと考える。
小学校については、いろいろな意見があることは承知している。今後は、教育委員会で丁寧に議論していくべきと考える。

教育長

地域に学校が存続する価値は非常に大きいものと考えている。
今後は、児童・生徒、また現在及び未来の保護者、学校・地域の方々のそれぞれ立場での意見を丁寧にしっかりと酌み取ることが重要と考える。

地域おこし協力隊について

問 協力隊が定住、起業、就職等をしてもらうための行政側の工夫は

企画課長

協力隊が起業する場合、その経費に對して100万円を上限に助成制度を設けている。また起業しない場合は、任期中に地域と関わり合いのある業務をお願いすることで定住につながるのではと考えている。

問 協力隊一人当たりの年間の予算(給与・活動費)について

企画課長

国の特別交付金において、1人当たり報酬で280万円、活動経費で200万円を上限として措置され、本町も、おおむね特別交付金に準じて予算化され支給されている。

問 協力隊の活動経費の増額の考えは

企画課長

補助金や生活支援も実施している。その使用目的をしっかりと相談し制限内で考えていきたい。

問 今後の活動内容と期待について

地域課題やミッション等しっかりとした委嘱目的が重要と考える。積極的に活用していきたい。





かい まさくに
甲斐政國議員

午後5時、楽曲の変更は

問 明るく希望の持てる曲にして欲しいとの意見があるが。

総務課長

全町民が納得する曲を選定することは難しい。現状のままで行きたい。

分譲地の整備状況は

問 家を建てたくても土地がなく、町外に転出された事例がある。分譲地整備の考えは。

町長

室野に二区画を整備し一区画が残り、募集中。まずは安定的に飲料水が供給出来ること。高速道の土捨て場で住宅建設可能な土地が造成される可能性もある。

問 住宅メーカーと連携の考えは。高速道の整備に伴い、ベッドタウンとしての可能性も否定できない。

町長

前向きに取り組む課題と認識している。

防火水槽等の整備状況は

問 消防水利は消火活動に重要なもの。防火水槽の有蓋化計画は。

総務課長

新規に3箇所の防火水槽を予定。有蓋化工事も危険性を考慮し計画的に実施している。

問 自然水利の整備状況は。

総務課長

生コン支給等で対応している。消防団と協力しつつ進めていく。

婚活イベント、交流の場の提供は

問 婚活事業の動きは。イベントや交流の場は設けられるのか。

企画課長

業者に委託し、来年3月頃に開催出来るよう調整中。また、出会いづくり推進員と協議しつつ、婚活支援事業に効果的に取り組む。

高齢者施設の建設は

問 高齢化が進み、施設入居希望者の増加が懸念される。施設建設の考えは。

福祉課長

令和3年をピークに減少傾向にある。対象者が減少すれば、民間からの参入も厳しいと考える。

問 施設建設が厳しいのであれば、町としての高齢者対策は。

医療・福祉・介護が連携する体制整備。また、待機者へのこまめな対応を検討する。

廃プラ処理への助成の考えは

問 その多くが町を支える一次産業から排出されるもの。農業振興の観点からも町が助成するべきでは。

農林課長

単価(30円/kg)については3町合同の単価。回収に対する助成は難しいと判断する。

町長

町としては農家の利便性を高めるための支援。また、購入資材への補助金を出している。ご理解頂きたい。



おがさわら まさたろう
小笠原将太郎議員

ヒートショック対策について

問 注意喚起放送の実績は。

福祉課長

令和3年度から今年度まで中央保育所の園児が防災無線で呼びかけを行っている。

問 実際に町民と対話をする機会を設ける意向はないか。

福祉課長

ふれあい施設や居場所、いきいきサロンなどで、また、民生委員さんが高齢者宅訪問時にお話をする事で今後対応したい。

意見

鹿児島大学の医学部が、2006年から2019年の13年間、鹿児島県内で入浴中前後に突然死された2,600人を調査した。9割が65歳以上の高齢者で、およそ半数のケースが12月から2月の冬場に集中し、気温を分析したところ気温が低く、1日の気温差が大きいほど起きやすいことが分かった。鹿児島市内の場合、統計上の分析で、最高気温が14.5度未満、最低気温が5度未満、1日の気温差が8度を超えた場合、入浴時の死亡リスクが高まる。亡くなられた方の数は、高齢者が交通事故で亡くなる数よりも3倍近く多いということです。高齢化に伴い、今後増えることを予想している。入浴時の突然死予防策を五ヶ瀬町から発信し、全国に広がってほしいと思う。

「ヒートショック」とは

暖かい部屋から寒い部屋への移動など温度の急な変化が体に与えるショックのことです。

このことで血圧が変動することが入浴事故の要因の一つと言われています。



水道水の安定供給について

問 水道水が濁った時の水道料金は。

建設課長

現時点では、相当な量が出ない限り減額等は考えていない。

意見

頻繁に起こることではないが、また汚濁が起きたときには、相談したい。きれいな水、おいしい水を町の特色として、町の発展に役立ててほしい。



ほんだ としのり
本田俊徳議員

小学校の共同調理について

問 小学校の共同調理について、その後経過を伺いたい

教育長

10月の定例教育委員会で協議を行った。センター自体の運営など、具体的に検討を進めている。準備委員会で検討会の設置要綱を作成している。検討会の委員には、本町関係者以外の外部の学識経験者等も加わっていただきたいと、考えている。

問 給食調理員の労働環境について

教育次長

現場とも協議をしながら進めていこうと思っている。

問 就学・未就学児童の保護者にアンケートを取って、進めていただきたい。

教育長

検討委員会等で議論した内容については、広く町民の皆様、特に保護者の方には、様々な機会を通じて状況等を報告する義務が出てくると思う。情報共有しながら、よりよい学校給食というものをつくっていききたい。

問 小学校の統廃合の考えを伺いたい

教育長

今年度の各学校の運営協議会にて、学校、保護者、地域の代表の方の御意見を頂こうと考えている。年度内には意見聴取の場が取れるよう各学校と、現在、調整をしている。

意見

早急に対応が必要かと思うが、前向きな話し合いをして新しい学校ができると思えばいいことだと思う。

問 小中一貫教育導入の考えはあるのか

教育長

具体的に答えるのは難しい。

問 子どもの多い保護者にとっては、学校行事が重ならないので負担も軽減されると思う。子供達も勉強スポーツに励みが出るのではないのか。

教育長

小中を一緒にするという最大のメリット、御指摘のとおりかと思う。メリット、デメリット、そういう情報を集めていくことが重要。

意見

今後、小学校の統廃合に付随して検討していただきたい。

町職員の心構え、意識について伺う

問 職員に声をかけないと対応してもらえないことがあった。せめて着座と同時位に対応をしていただきたいと思うが。

町長

当然、カウンターに着かれた時には、同時位に、出ていくべき。気づきに対しての心構えが大事と思うので併せて指導していきたいと思う。

意見

今後、全体の奉仕者としての意識を忘れずに、町民の期待に応える職務の遂行をお願いしたい。



ひろし やの
矢野宏議員

人口減少対策における町の創生総合戦略の現状は

町長

県の戦略策定を待つて、地域の実情に沿った人口減少対策に取り組みたいと思うが、現状では、第2期五ヶ瀬町まち・ひと・しごと総合戦略に基づき、持続可能な地域づくりを目指している。

問 人口ビジョンでは、町内の人口が定められているが、これに対する現状は。

町長

本年10月1日現在三千百四十三人と推移モデルより速い速度で人口減少が進んでいる。現在の移住・定住策に加え、新たな策を打っていかねければならない。

問 I・Uターナー者の現状について伺う。

企画課長

過去5年間で26世帯31人が移住したが、1年平均で5世帯6人と最適化パターン1年の年間当たり15世帯35人には届いていない。

問 新たな策として特定地域づくり事業協働組合制度があるがどう捉えているか。

町長

非常に興味深い制度で、近隣の先進地視察を通して、県と連携して研究を進めていきたい。

子牛価格が低迷する中、依然として生産農家は厳しい。現状と見解を伺う

町長

競り市等で話を聞くなどして現状は実感している。町内の畜産農家は、67戸で母牛頭数は五三〇頭と減少している。優良農地の遊休化も懸念される。

問 今を生き残るために、飼育している母牛の支援と、繁殖雌牛更新時の導入支援の考えは。

町長

町の力不足もあり、非常に心苦しいが、国、県の新しい事業をうまく活用し、JA、県、西臼杵3町一体となつて、この危機を共に頑張つて乗り越えていくしかない。

問 今後の支援策を伺う。

町長

出来ることは前向きに考えていく。関係機関が一体となつて新たな振興策を模索する必要がある。農家との意見交換をしながら課題、要望等をきちんと捉えて、実態を見える化して対策を考えていく。



11月競り市の様子

皆様のご意見・ご要望に応えるべく努力します

令和5年 五ヶ瀬町議会報告会結果報告

令和5年11月6日から9日までの4日間、町内4箇所で議会報告会を行いました。
お忙しい中ご参加いただき、貴重なご意見を多く頂きありがとうございました。
ここでは抜粋したものをご紹介します。

11/6 (月) 鞍岡地区複合型交流施設 対象地区：鞍岡地区

17名

- 11月11日に町の復興イベントが1,200万円の予算で開催されたが、その効果と成果があるのか疑問である。
- 小さい子供を持つ保護者が病気になった時の子供の世話はどうか。
- 若者や若い夫婦がこの町に残る為に、住宅の整備計画をしていただきたい。
- 町道や林道の維持管理が高齢化と人手不足で十分な管理が出来ない。
今後、行政としてどう考えていくか。
- 観光地としてのPRが足りてないと思う。
- 学校給食の今後の方向性を検討してもらいたい。
- 町政報告会と議会報告会が10日足らずで行われた。
何回も出ていくのは大変だ。参加者の事も考えてもらいたい。
- ふるさと納税の事をもっとPRして欲しい。
返礼品は五ヶ瀬町産の物を利用してもらいたい。
- 町民、区民、地区民の話し合いの場がなくなっている。
集まる場や機会がない。簡素化され過ぎるのにも問題がある。



11/7 (火) 桑野内生活改善センター 対象地区：桑野内地区

12名

- 町職員の約30%が町外から通勤している。出来るだけ町内に住んで貰いたい。
- 移住者に対して町の対応が投げやりで十分ではない。住宅は自分で探してくれ
と言われた。もう少し親切に接して貰いたい。
- 一般質問もいいが、議会が一つになって一つの事に
対し徹底して議論をして貰いたい。
- 五ヶ瀬ワイナリーの外にトイレを作って欲しい。
- 五ヶ瀬町の商店街の活性化するような対策をして貰いたい。
- 男坂にある県の住宅の空き家が多い。
町の職員向けに何とか利用することは出来ないか。
- 第三セクターは明確な方向を示すべきだ。
(雇用の場と言う考えはおかしい)
- 草刈り機（ブッシュチョッパー）の必要性を感じる。
町が所有してレンタルすることは出来ないか。また、レンタルの補助制度が欲しい。



11/8 (水) 五ヶ瀬町役場議場 対象地区：2・3・4・5区

12名

- 向坂山検討委員会のメンバーは大学の教授等ではなく、町内の有識者で構成すべきだと考える。
- 一般質問は、以前の質問の答弁の内容がどの様になったか聞き出して貰いたい。
答弁が「検討します」で終わっているのではないか。
- 地域おこし協力隊の活動状況が見えない。観光協会も同様。
- 議員研修の内容を、広報誌に掲載して貰いたい。
- 公民館長・民生委員等のなり手がいない。
町で考えて何とかして欲しい。
- コミュニティバスを小型化して、町内の隅々まで運行して欲しい。
- 住宅は町産材を利用して、低コストで建設できないか。
- 小学校の児童に、交通安全用のベストを配布して貰いたい。
- 学校給食は地産地消の活用をし、安全で安心できる食材を提供すべきだ。
- 町道の未改良路線がまだまだある。一日も早く完了して頂きたい。



11/9 (木) 荒踊りの館 対象地区：1区全域

9名

- 山林を利用したキャンプ場を作ったかどうか。
- 木地屋の電話対応が音声ガイダンスになっている。
サービス業なので生の声で対応すべきと考える。
- 農地が耕作放棄地になる前に、守るべき土地とそうでない土地の分けを早急にやるべきだと考える。
- 消防団の再編が必要ではないか。
少数では消防団活動に支障が出る。分団の統合を考えるべきだと思う。
- プレミアム商品券を町民に一人5,000円程度配布して欲しい。
- 九州中央道路の完成した後の五ヶ瀬町の姿が見えてこない（施策を考えるべきだ）。
- 五ヶ瀬町をPRして、五ヶ瀬に住んで貰い職場へ通勤してもらう方法を考えるべきだ。
- フリーWi-Fiの環境整備が必要。特に、町が管理する施設や学校、生活改善センター等、避難場所となっている施設には設置して貰いたい。



～中央道路の早期開通を確実に～ 蘇陽五ヶ瀬道路着工



国会議員などが出席し鍬入れ

11月3日に五ヶ瀬ドームにおいて、国道218号蘇陽五ヶ瀬区間の着工式が開催されました。これで五ヶ瀬町内の中央道路は五ヶ瀬・高千穂間を含め全区間が工事着工されたことになります。開通後の五ヶ瀬町のあり方も同時並行して考慮しながら、早期開通を目指して議会としても、関係機関に積極的に働きかけてまいります。

様々な課題に3町一体で取り組む 西臼杵郡町議会議員大会開催

令和5年11月13日に本町で郡の議員大会を開催しました。3町議員の他、小迫町長はじめ支庁長、県職員など約40名が出席。人口減少を始め様々な課題を3町議員が一緒になって取り組んでいく事を確認しました。また、現在工事が進んでいる県道竹田・五ヶ瀬線の波帰之瀬大橋（仮称）を視察しました。

橋梁部が令和11年度完成予定、令和12年度中には供用開始の予定です（県発表）。



現場と視察



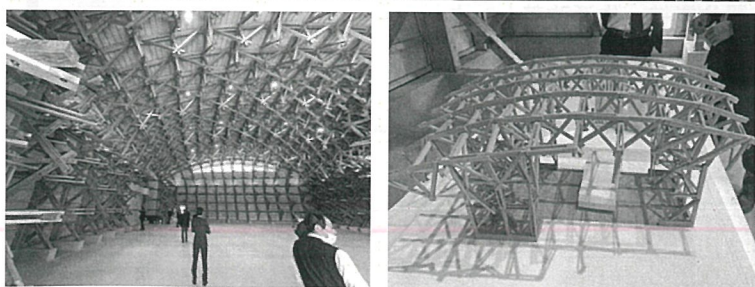
現地で説明を受ける

—新技術を取り入れ「新しい林業」の展開を— 森林・林業・林産業活性化九州大会



令和5年10月31日、熊本市の熊本城ホールで、森林・林業活性化促進議員連盟及び林業団体関係者など約1,000人が参加し、基調講演及び「木糸」をテーマにした事例発表を行いました。また、再造林・間伐等の森林整備関連予算の確保など、6つの大会決議が採択されました。

翌日は 熊本県甲佐町の(株)エバーフィールドを視察しました。大会決議で取り上げられた、「木質由来新素材の開発等多角的な木材利用」を実践し、木材で柱の無い大きなドームを建築されています。木材の持つ可能性を実感でき、五ヶ瀬町の大きな財産である「森林資源」の将来に向けての活用方法を考えることが出来ました。



〈木造レシプロカル構造〉による木材加工場

研修報告

甲斐義則

10月23日・24日2日間、滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所で開催された令和5年度市町村議会議員研修に参加しました。全国から76名の市町村議員が参加し、宮崎県からは五ヶ瀬町議会から1名、小林市議会1名、都城市議会1名の3名でした。

研修名は「議会改革を考える」先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」で、1日目は「地方議会の展望」で



研修会場のようす

早稲田大学名誉教授北川正恭氏の講演でした。北川氏は三重県議会議員、三重県知事、衆議院議員を歴任されており、議会と執行部との実経験に基づいた話しは実感と説得力がありました。

「国と地方は、上下主従の時代から対等協力の時代になり、地方自己決定と自己責任の時代である。地方は分権するだけではなく、地域を主体的に創生する覚悟を持つように。議会と首長執行部は二元代表制で対等な機関であり競争を行うように」などの話しは勉強になりました。

先進事例として、岩手県奥州市議会議長、長野県宮田村議会議長の講話があり、住民のために色々な活動、改革を行っており、改めて議員としてのスキルアップ、五ヶ瀬町議会の現状など考えさせられました。

五ヶ瀬町議会は議会基本条例の制定は元より、議会報告会や町内巡回、出前授業など議会活動を行っております。交流した議員の中には基本条例が無い議会や議会報告会、公聴会など行わない議会もあり他の議会の状況を知る事もできました。

今回の研修を活かし精進いたします。

「議会だより」4月号からの表紙写真を募集します

*発行日前後の時節にあったもの。

目的

議会だよりを町民の方により身近な広報誌としてご覧いただくことを目的に表紙写真を公募します。

募集写真

五ヶ瀬町内の人物、四季折々の風景やお祭り、地域行事などの各種イベント写真。

応募規定

1. 五ヶ瀬町内で撮影されたもの。
2. 未発表のもの
3. 高画質のデジタルデータ(高画質のスマホもOK)で提出できるもの
4. 人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの
(注)被写体が中学生以下の場合は、保護者の承諾を受けてください
5. 基本的に縦向き撮影のもの

応募方法と応募資格

1. 写真を直接持参いただくか、郵送で議会事務局までお願いします。
2. デジタルデータの場合はメールで議会事務局へお送りください
3. 作品には撮影場所・タイトル・撮影者の住所氏名・電話番号の明記をお願いします。採用された場合、写真の下方にタイトル・撮影者名を掲載します(匿名を希望される方は、その旨をお知らせください)
4. 五ヶ瀬在住の方ならどなたでも応募できます

選考方法

議会広報編集委員会で選考し採用者に通知いたします
採用された場合のデータはSDカードかUSBでの提出をお願いします
事務局のパソコンにデータを保存後返却いたします
*写真は返却できませんのでご了承ください
(注)採用されても記念品などはございません。ご了承ください

締め切り

議会だよりの発行は年4回(1月・4月・7月・10月)の10日です。
随時受付しますが、前月の20日が最終締め切りとなります。
*但し1月に限り12月25日の締め切りとします

応募先(問合せ)

五ヶ瀬町三ヶ所1670 五ヶ瀬町議会事務局
TEL 0982-82-1711
FAX 0982-82-1722
メール gikai@town.gokase.miyazaki.jp

●皆様からのご意見お便り、表紙用写真をお待ちしております

ご意見、お便りの様式は自由です。

郵送、FAX、メールのいずれかの方法でご応募ください。

表紙用写真については、6年4月号からの分を募集します。応募規定がありますので、詳しくは右記の詳細をご覧ください。

明日を駆ける！

宮部 智美さん (33歳)
みやべ ともみ

今月は、宮部智美さんを紹介します
智美さんは、現在町立病院窓口で受け付けを担当されています。
五ヶ瀬町で生まれ熊本の大学で文学部に席を置き修学されました。
卒業後高千穂高校で教壇に立たれたこともあります。

現在は、ご家族と同居され、家業（宮部精肉店）が忙しい時は手伝いをされています。休みの日は、好きな音楽を聴きながら自宅で過ごすことが多く、最近興味がある三味線を習ってみたいとのこと。

今後は、「もう少し見聞を広めるために、色んな事にチャレンジしてみたい」と話していました。



～人々の暮らしを支え、守り続けた 100 年～ 三ヶ所土地改良区 設立100周年記念式典

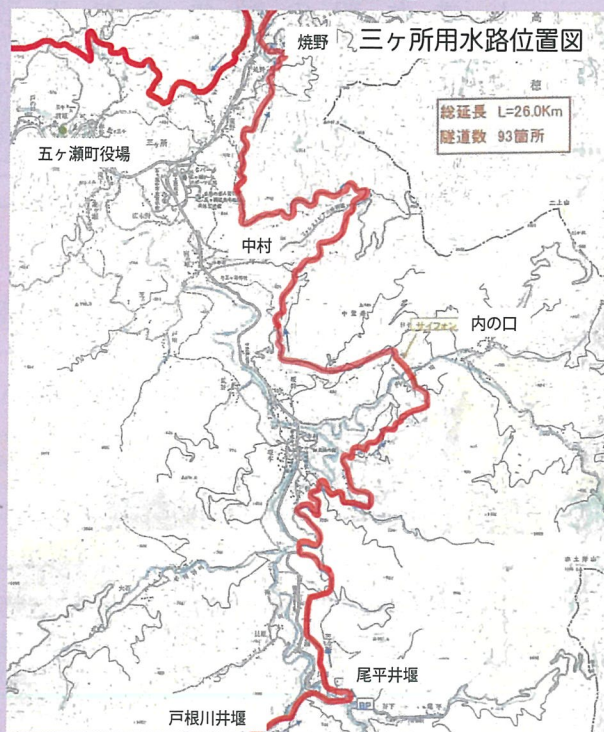
令和 5 年 12 月 3 日に三ヶ所土地改良区設立 100 周年記念式典が行われました。

式では、はじめに畦池港理事長のあいさつがあり、国会議員をはじめ、多くの来賓や組合員、関係者を含め総勢 130 名の出席者の元、盛大に開催されました。

三ヶ所土地改良区用水路は大正元年から計画がはじめられ、大正 14 年に水路工事に着手し昭和 2 年に完成、4 月 25 日に通水されたようです。総延長 22.5 km 高性能な測量機器や建設機械などなかった時代にわずか 2 年で完成しております。先人の知恵と能力は測り知れないものがあります。

三ヶ所用水路は、先人が築きあげられた貴重な財産です。
これから先も維持管理をしっかり行い、後世に引継ぐ事が今の私達の務めであると改めて認識しました。

…… 地域の話題 ……



どうぞ傍聴席へ

次の定例会は3月開会予定です。
傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。
TEL82-1711 (議会事務局直通)

発行責任者 議長 佐藤 成志
議会広報編集委員会
委員長 矢野 宏
副委員長 本田 俊徳
委員 太田 保義
委員 田中 春男
委員 小笠原 将太郎
委員 甲斐 義則

あけましておめでとございます。
皆様お正月はいかがお過ごしでしたか？
さて今年も一番心配なことはコロナウイルスですが、少し落ち着いてきて世間の空気は緩んできているように感じます。
気を引き締め自分ができる感染症対策を徹底していきたいと思っています。皆様も体調管理と合わせ感染症対策を宜しく願います。
議会広報編集委員会では、議会だよりをはじめ、身近な町議会を目指して、仕組みづくりを議論しているところです。
コロナ禍の下、多くの方の声が議会に届けられるよう議会だよりについては紙面づくりや工夫を凝らし、より多くのみなさんに読んでいただけるよう記事内容などについて議論を重ね、様々な意見を出し合いながら作成していきたいと思っています。
今年も、よろしくお願いいたします。
(本田)

編集後記